

ホストファミリーとして学生を受け入れてみて



日野町中菅

つばくら さとし みかこ
坪倉 敏さん・実開子さん

壁にぶつかったら帰っておいで

北川さん、春山さんを受け入れました。2人は話し方も丁寧で、しっかりとしている印象を受けました。普段から多くの人が訪れていきますので抵抗はありませんでした。特に構える必要はないと思います。こんな楽しいこと、町の皆さんにも経験してほしいですね。

従事する若者を呼んで一緒に交流しました。起業家と学生で生き方が違います。学生は積極的に質問し、刺激を受けていたようです。壁にぶつかったときには帰っておいでと伝えました。出会いは一回で終わることはありません。つながっているんです。今回の経験を生かして成長した、立派な姿が見たいですね。

経験を生かして感性豊かな社会人に

普段から多くの人が訪れるので抵抗はありませんでした。椎名さん一人で緊張の様子。印象はおとなしく、礼儀正しい子でした。

「日野町で生活することによって不便を感じないか」と質問されましたが、私たちは「自然があつて、人が温かい。この町が好き」と答えました。近所の皆さんも大歓迎し、飾ることなく会話を楽しんだん

ですよ。若い人と話すことがうれしいんです。この町でどんな学生を受け入れたら良いと思います。中山間地域のことを良く知ってもらえます。

地元に戻られて、地域で自分にできることをやってほしいです。ここで経験したことを生かして、豊かな感性を持った社会人になってほしいですね。期待しています。



日野町根雨

もりた かつひこ じゅんこ
森田勝彦さん・順子さん

多くのことに挑戦し、楽しんで



日野町舟場

たなか まさゆき あいこ
田中正之さん・愛子さん

わが家はよく人が来るので、大学生を受け入れる事には「準備が大変」「心配」ということはありませんでしたし、新しい出会いも楽しみだったので喜んで引き受けました。

中島さんがわが家に来た初日、ウエルカムパーティーを開き、にぎやかにお酒を飲みました。知らない人ばかりだったと思いますが、すぐなじみ、社交的な印象を持ちました。「なんでもやってみたいとわからない」という中島教授の言葉を実践して、いろんなことに興味を持って取り組んでいる姿が良かったです。

※ホストファミリーは、生活体験をする留学生を受け入れる家族のこと。

※今回の受け入れは、上記の皆さんのほか、久住の吉原貢さん宅に、

徳武さん、田中さんが宿泊しました。

人と人のつながりの大事さを再確認できた研修でした。ホームステイ先の坪倉様のお宅でも近所の方をお招きして笑いの絶えない宴会を心から満喫しました。日野町の自然、笑顔、つながりは一生の思い出です！ありがとうございます！



商学部 3 年
はるやま だいち
春山大地さん
(東京都出身)

私たちの研修を快く受け入れて頂き、本当にありがとうございました。研修中はホームステイでの生活やあいきょうの安達社長のお話がとても印象的でした。これからは町の今後を考え、また多くの人へ広めていきたいです。

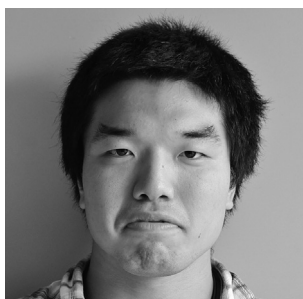


商学部 3 年
しい なしゅうへい
椎名修平さん
(埼玉県出身)

日野町での研修を終えて思うこと ～学生たちのホンネ～

1 週間の滞在で、日野町の生活を体験した学生の皆さん。印象に残ったことやまちの雰囲気など、それぞれの思いを聞きました。

日野町で過ごした6日間は、日野町の人のエネルギーと温かさを実感した6日間でした。役所の職員さんや坪倉さんご夫妻をはじめとする、この研修に関わってくださったすべての方々、本当にありがとうございました！



商学部 4 年
きたかわ たかあき
北川貴彬さん
(東京都出身)

採れたての野菜や果物を食べ、夜は町のみんなでお酒を飲む。そんなありのままの日野町生活を送らせてもらったことが純粋に一番素敵な思い出です。そんな地域の人とのつながりや温かさが安達社長の理念に通じていることを実感しました。また戻ってきます。第二の故郷、日野町！



文学部 3 年
なかしま か な こ
中島可那子さん
(愛知県出身)

たくさんさんの温かさに触れた研修でした。都会ではただすれ違うだけですが、道端の方々が挨拶してくださり、嬉しく思いました。便利で人との関わりが減る都会にはない温もりを感じ、日野町が大好きになりました。また来ます！



商学部 4 年
とくたけ けんたろう
徳武健太郎さん
(長野県出身)

安達社長の話を伺い、今後の少子高齢化社会といかに向き合うべきかのヒントを得たと思う。ホームステイ先での交流など、来なければ何も知ることさえなく、始まらなかったと思うと、本当に来て良かったです。



商学部 4 年
た な か た か ひ ろ
田中貴大さん
(東京都出身)